



第4回国際極年(IPY4)企画 —中学生・高校生の提案を南極・北極へ— 2004年募集要領

国際地球観測年（IGY）から50年目の2007年から2008年にかけて、国際的な規模での極地観測が計画されています。南極や北極は、ノイズが少なく地球や宇宙を理解する上で絶好の観測地域です。科学のフロンティアなのです。学校、教室、クラブやグループなどから、南極や北極で進めたい研究計画を広く募集します。斬新なアイデアや、素朴な疑問に基づく研究提案を歓迎します。

（1）提案の形式

研究テーマ、提案団体、目的、動機、方法、予想される結果について、別紙の用紙に記入してください。手書きでもかまいません。

（2）提案の締め切りと提出先、問い合わせ先

- ・ 2004年11月12日（金）
- ・ 〒173-8515 東京都板橋区加賀1-9-10
国立極地研究所 第一回中高生南極北極オープンフォーラム事務局
- ・ 問い合わせ先 同事務局 伊藤一 Tel:03-3962-5690 E-mail: hajime@pmg.nipr.ac.jp

（3）表彰

応募された提案は、第一線の極地研究者など有識者からなる審査委員会で審査され、最優秀賞、優秀賞、佳作として団体ならびに参加した個人を表彰するとともに記念品を贈呈いたします。なお、最優秀賞、優秀賞、佳作について、11月25日（木）に通知いたします。

（4）第一回中高生極地オープンフォーラムでの提案発表

佳作以上の提案は、12月18日（土）に開催される「第一回中高生南極北極オープンフォーラム」のポスター発表の部で、また、優秀提案（最優秀賞と優秀賞となった提案）については、同フォーラムの優秀提案発表の部で発表していただきます。

（5）優秀提案の南極/北極での研究の実施

日本南極地域観測隊あるいは北極観測グループに研究を委託します。

（6）研究成果の報告

研究成果は、担当した研究者が提案した学校に報告いたします。南極観測隊に託したテーマについては、テレビ会議によって、南極昭和基地から直接学校に報告いたします。

主催：日本学術会議（第4回国際極年日本国内委員会） 国立極地研究所

後援：文部科学省（申請中）、国立科学博物館、（財）日本極地研究振興会、朝日新聞社



第4回国際極年(IPY4)企画 —中学生・高校生の提案を南極・北極へ—

第1回中高生南極北極オープンフォーラム プログラム

開催日時：2004年12月18日(土) 13:00～17:00

開催会場：国立極地研究所 講堂(管理棟6階)

プログラム：

13:00 開会

挨拶 渡邊国立極地研究所長

趣旨説明 日本学術会議第4回国際極年日本国内委員会委員長

13:15 **第一部 中学生・高校生からの提案(優秀提案発表の部)**

優秀提案の表彰

優秀提案の発表(各15分x5件; Power Point あるいはOHP)

14:45 休憩

15:00 **第二部 中学生・高校生からの提案(ポスター発表の部)**

模造紙1枚。ポスターボードや画鋏等は事務局で用意します。

15:45 **第三部 南極北極研究の最前線**

国立極地研究所の実験室、低温室、資料室などを見学し、研究の最前線の現場を見学します。

17:00 閉会

展示 1階展示ロビーで、雪上車、南極隕石などを見学できます。

募集人数 150人

参加者 全員に記念品を贈呈します。

参加費 無料

申し込み 〒173-8515 東京都板橋区加賀1-9-10

国立極地研究所 第1回中高生南極北極オープンフォーラム事務局

案内 朝日新聞紙上、国立極地研究所/日本学術会議/国立科学博物館などのホームページで一般に広く宣伝します。

主催：日本学術会議(第4回国際極年日本国内委員会)、国立極地研究所

後援：文部科学省(申請中)、国立科学博物館、(財)日本極地研究振興会、朝日新聞社